

## 松田町 A I オンデマンド交通実証実験の実施について

### 1 これまでの経緯・背景

松田町の人口は平成 7 年をピークに減少に転じ、令和 2 年国勢調査では 10,836 人、65 歳以上の高齢化率は 34.1%となっており、人口減少や少子高齢化などの影響により、地域にとって大切な地域公共交通の維持・確保が厳しい状況に置かれています。また、それに伴って、路線バスの利用者も減少傾向にあります。

そうした状況において、地域内に A I オンデマンド交通システムを導入することで、既存の公共交通サービスが行き届かなかった地域・時間帯における公共交通を確保し、町内のどこでも、誰もが安心して利用できる公共交通網を形成します。

そのことにより、松田町地域公共交通計画に掲げる「誰もが“笑顔”で行きたい所へ行けるまち 松田」の実現を図ります。

### 2 AI オンデマンド交通とは

路線バスのように、決まった経路や時刻表のある交通サービスではなく、利用者の予約に応じて運行する乗合いの交通サービスです。

路線バス	A I オンデマンド交通	タクシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 既定の路線</li> <li>✓ 時刻表により運行</li> <li>✓ バス停で乗降り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ AI が最適なルートを作成</li> <li>✓ 事前予約制</li> <li>✓ 区域内でのみ運行</li> <li>✓ 乗降ポイントで乗降り</li> <li>✓ 乗合いによる運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ どこでも自由に乗降り可能</li> <li>✓ 区域の制限なし</li> <li>✓ 他の人との乗合いなし</li> </ul>

### 3 山北町における松田町 AI オンデマンド交通の運行について

松田町民の移動ニーズは松田町内に留まらず、足柄上郡の各町へ及ぶことから、松田町に限らず、大井町と開成町も運行区域に含み現在、運行を行っています。

本実証実験は、内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、令和 5 年度から令和 7 年度までの 3 か年の実証実験を行うこととし、令和 5 年度は松田町及び大井町の一部区域において運行を開始し、順に、令和 6 年度には開成町の一部区域への運行を開始、3 年目の令和 7 年度に山北町の一部区域を新たな運行エリアとして拡充したいと計画しています。

山北町における乗降場所については、松田町の西部に住む住民の方の利用ニーズがある、東山北駅周辺の商業施設等を中心に、検討しております。

### 4 山北町地域公共交通会議にて協議を依頼したい事項について

上記のとおり、これまでの運行区域に加え、山北町の一部区域を運行区域に含み、オンデマンド交通の実証実験を令和 8 年 1 月～3 月にかけて実施したいと考えておりますので、貴町の一部にて、別紙運行計画により運行することについて、協議を依頼するものです。

# AI オンデマンド交通のイメージ図

～みんなのバスで 好きなときに 好きなところへ 行きましょう～



# 松田町における AIオンデマンド交通実証実験 のこれまでの経緯

令和7年11月  
松田町

# 松田町の地域公共交通における課題

- ①**高齢化の進展等に伴い、今後増加することが予想される交通弱者への対応**
  - ・ 本町の高齢化率は今後も高まることが推計されているとともに、高齢化に伴い自家用車の運転をあきらめる方も増加するものと考えられます。これらの方々の日常生活の足となる公共交通の充実が求められます。
- ②**町民の移動ニーズに柔軟に対応した、利便性の高い公共交通網の形成が必要**
  - ・ 町民アンケート調査結果から、既存の公共交通に対する満足度は低く、自家用車の利用から公共交通への利用転換を図るためには、公共交通利用者の目的・ニーズに対応した利便性の向上を図ることが必要です。
- ③**持続可能な公共交通であるため、町内の多様な輸送資源を総動員することが必要**
  - ・ 町内の多様な輸送資源を総動員し、公共交通を維持していくことが必要です。

# 松田町の地域公共交通について

鉄道駅を中心とした松田地区、山間部の寄地区で異なる環境



分類		交通機関	位置づけ・役割
広域幹線	広域幹線交通	鉄道	広域的な移動を担う交通
	都市間交通	路線バス（幹線）	大井町、山北町、開成町、小田原市等の周辺都市を結ぶ移動を担う交通
地区内路線	地区内交通	路線バス（フィーダー）	本町の既存路線バス網であり、地区内交通（デマンド型面交通）と連動して駅等の拠点と地域間を結ぶフィーダー路線としての移動を担う交通
地区内ゾーン交通	地区内交通（デマンド型面交通）	A I オンデマンド交通システム等	既存路線バス網を補完する交通サービスとして公共交通の利便性を高めるとともに、本町町民の移動目的を踏まえ、隣接自治体も含めたゾーン内の面的な移動を担う交通
福祉交通	地域内（デマンド）	タクシーバス	利用者のドア・ツー・ドアの移動目的に対応した交通手段

# 事業の検討経緯

## 令和3年度

- 足柄広域新モビリティサービス推進協議会の設置  
→松田町地域公共交通会議の専門部会として、新たな交通施策を検討するための協議会を設置。
- 新モビリティサービス事業計画（素案）の策定  
→公設民営の考え方のもと、オンデマンド交通の導入に係る初期費用（システム導入ほか）について、町が負担して実施し、運営については民間組織が中心となって担うことを計画した。

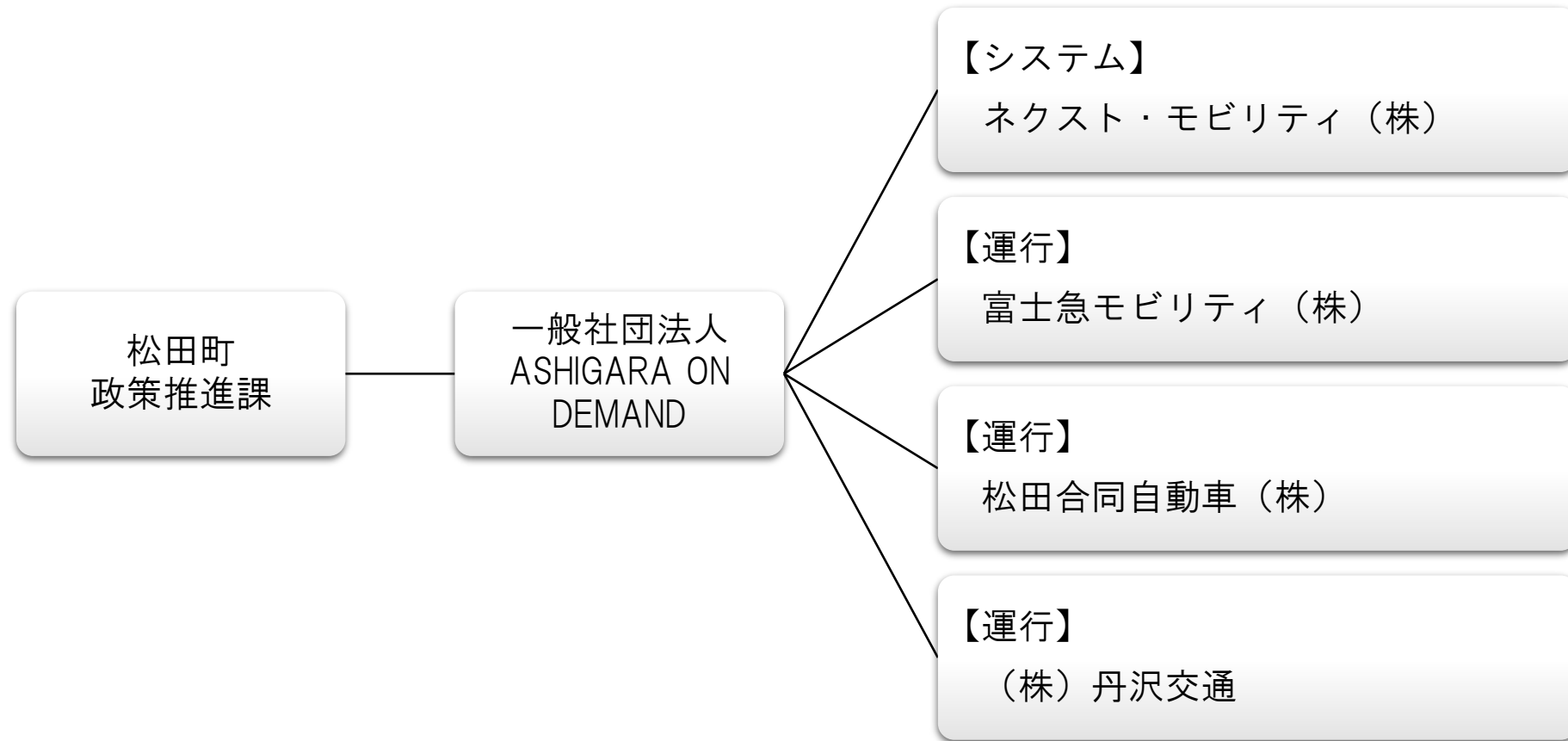
# 事業の検討経緯

## 令和4～5年度

- 松田町地域公共交通会議にて、オンデマンド交通について協議。
- 令和4～5年度にかけて「松田町地域公共交通計画」の策定を進めていたことから、町内の地域公共交通のあり方のなかに地区内ゾーン交通として位置付けて、既存路線バス網を補完する交通サービスとして、社会実証実験を行うこととした。
- 一般社団法人足柄オンデマンドを設立し、当法人が運営主体となり実証実験を実施。（令和5年10月～運行開始）

# 事業の実施体制

本町から一般社団法人に対し、実証実験の実施を委託





運行計画概要（運行開始当初）

運行区域	松田町全域及び大井町の一部区域
ミーティングポイント （乗降地点）	町内215箇所 大井町31箇所
運行日	運休日を除く毎日 運休日：年末年始（12/29～1/3）
運行時間帯	午前6時30分～午後10時00分
運行車両	ワンボックス車両（乗車定員8名（運転手のぞく）） 4台

運賃

運賃 （1回乗車）	大人 300円 ※小学生、障がい者、介護者 100円 ※未就学児 無料		
定額制運賃 （サブスク）	同一世帯員全員 ※回数制限なし	1ヶ月／	6,000円
		3ヶ月／	17,100円
		6ヶ月／	32,400円
	1名（小学生以上） ※回数制限なし	1ヶ月／	4,500円
		3ヶ月／	12,825円
		6ヶ月／	24,300円
	1名（小学生以上） ※30回まで	1ヶ月／	3,000円
		3ヶ月／	8,550円
		6ヶ月／	16,200円
	1名（65歳以上） ※回数制限なし	1ヶ月／	3,000円
		3ヶ月／	8,550円
		6ヶ月／	16,200円

運行計画概要（令和6年12月見直し）

7

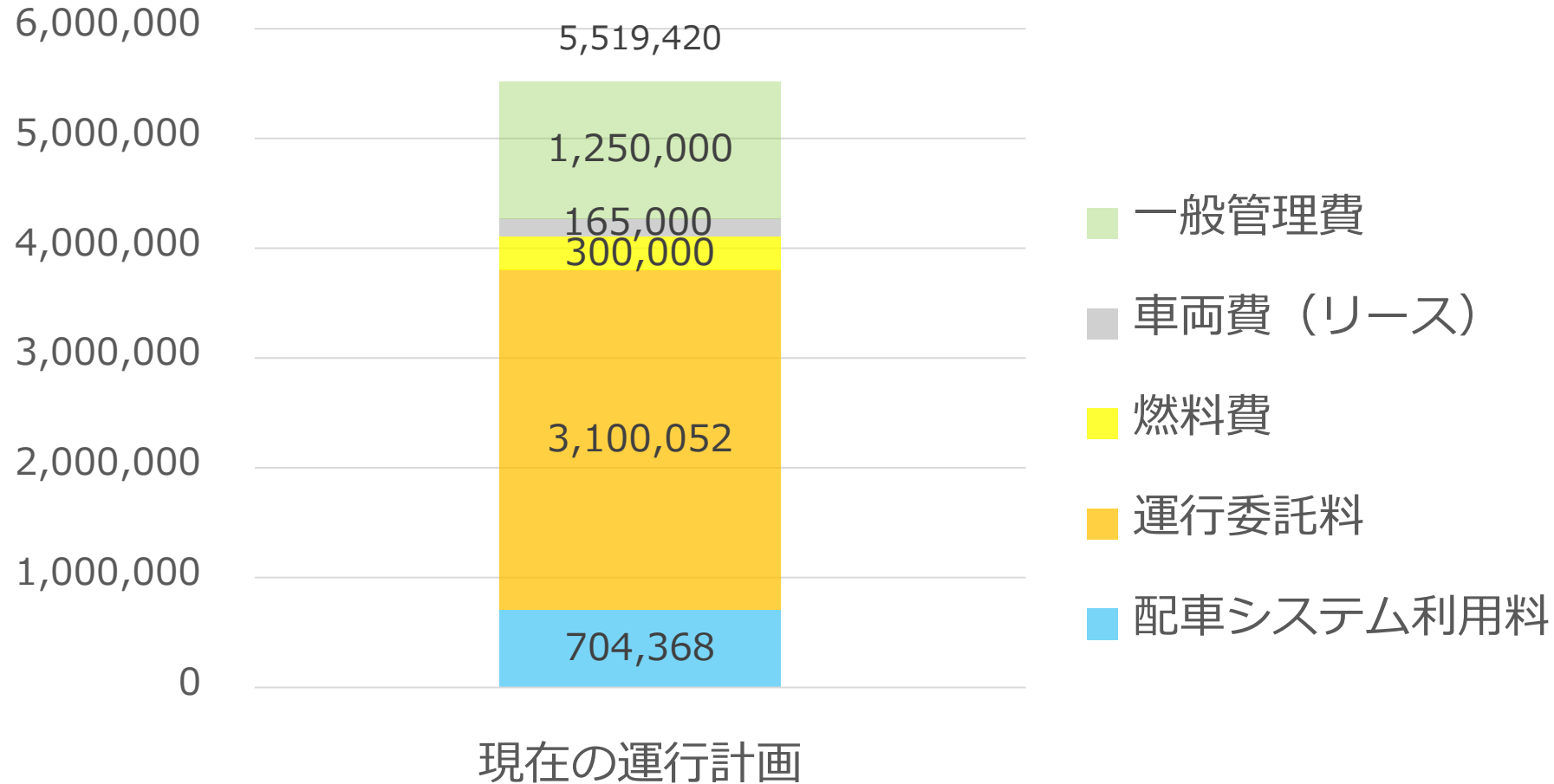
運行区域	松田町全域及び大井町一部区域
ミーティングポイント （乗降地点）	町内215箇所 大井町31箇所 開成町13箇所
運行日	運休日を除く毎日 運休日：年末年始（12/29～1/3）
運行時間帯	（平日・土）午前7時00分～午後9時00分 （日・祝日）午前8時00分～午後8時00分
運行車両	ワンボックス車両（乗車定員8名（運転手のぞく）） 3台

運賃

		アプリ・LINE	電話
運賃 （1回乗車）	大人	500円 （町外+300円）	600円 （町外+300円）
	子ども （小学生）	300円	400円
	未就学児	0円	0円
	障がい者	300円	400円
	介護者	300円	400円
定額制運賃 （サブスク）	大人	1ヶ月／	7,200円
		3ヶ月／	20,520円
		6ヶ月／	38,880円
	子ども （小学生）	1ヶ月／	3,600円
		3ヶ月／	10,260円
		6ヶ月／	19,440円
	シルバー （65歳以上）	1ヶ月／	5,600円
		3ヶ月／	15,960円
		6ヶ月／	30,240円
	※家族割として同一世帯で複数の申し込みをすることで10%割引		

# 実証実験に要する経費

現在の運行計画における月あたりの経費は以下のとおり

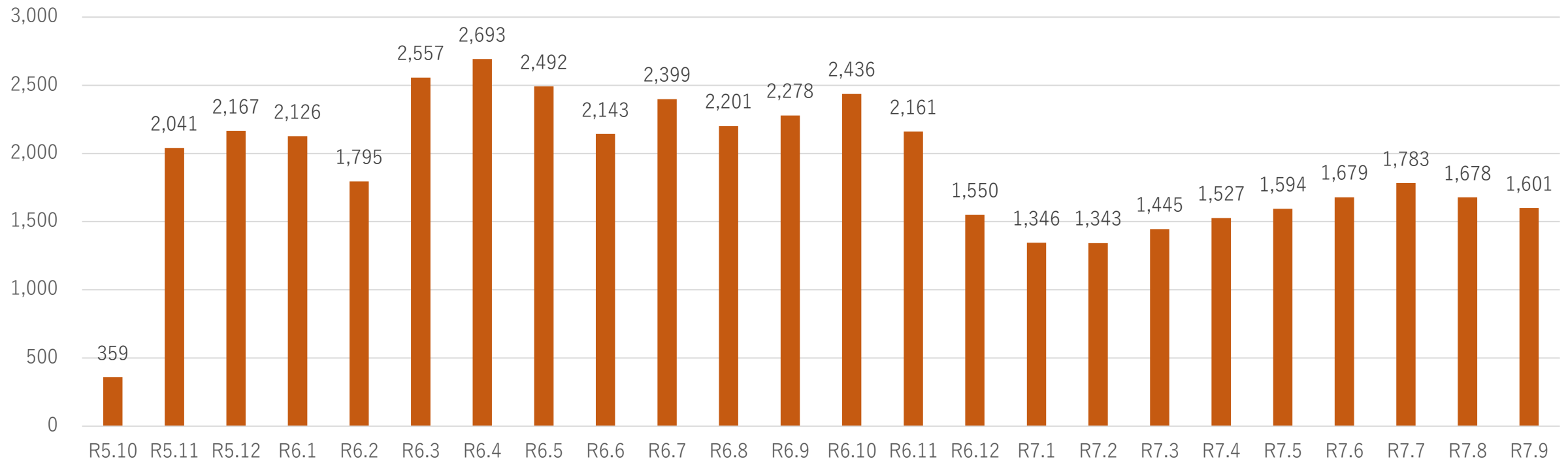


# のるーと足柄の利用状況

現在、月当たり延べ約1,600人の利用。（人数は約200人）

令和5年10月から実証運行を行ってきた、AI技術を活用したオンデマンド交通「のるーと足柄」の運行実績

## ○延べ利用者推移

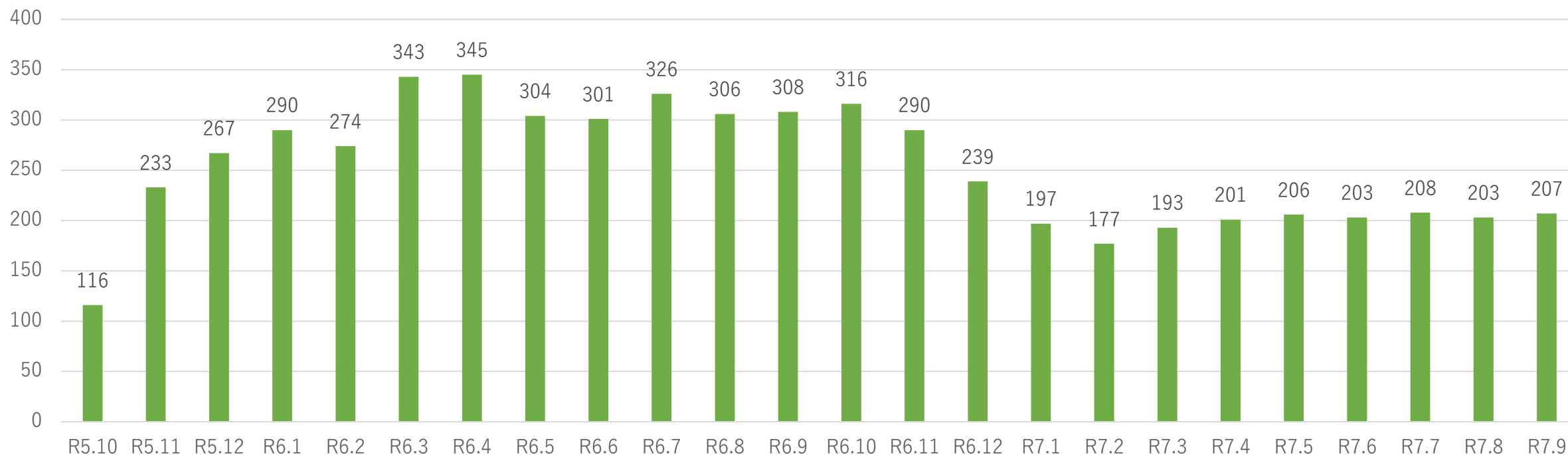


# のるーと足柄の利用状況

現在、月当たり延べ約1,600人の利用。（人数は約200人）

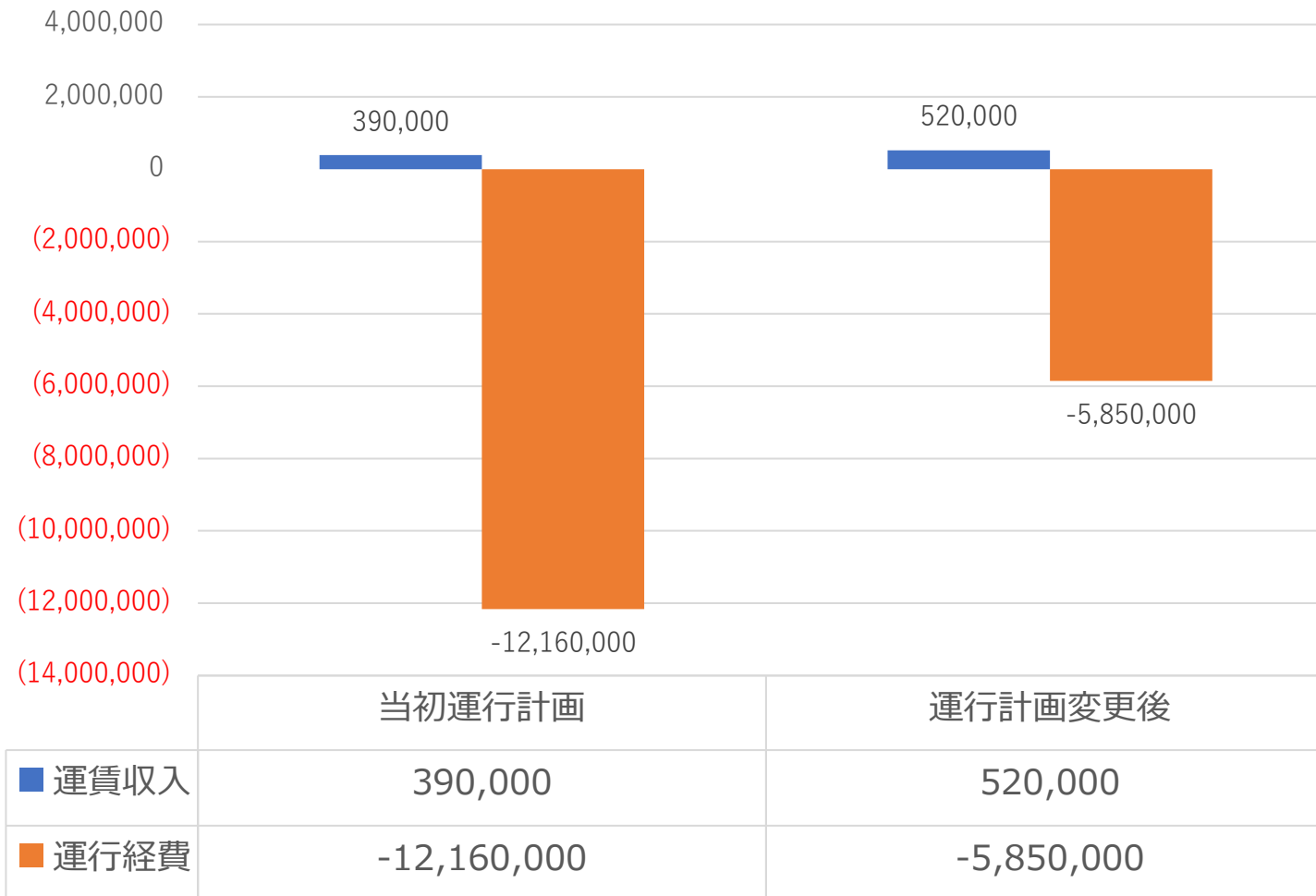
令和5年10月から実証運行を行ってきた、AI技術を活用したオンデマンド交通「のるーと足柄」の運行実績

○利用者推移（実際に使った人の人数）



# のるーと足柄の収支状況

収支率（運行経費に対する運賃収入の比率）は約8.9%。



## 【当初運行計画】

令和5年10月に運行を開始した当初の収支状況

## 【運行計画変更後】

令和6年12月に運行計画の変更を実施

（主な変更点）

- ・車両台数の削減
- ・運行時間の短縮
- ・運賃の見直し

⇒約6,360万円／年  
収支がマイナス

# 実証実験から得られた数値

約20人

車両一台当たりが1日に  
運べる人数

約62万円

運賃収入（月あたり）  
運行計画変更後

約11.2%

収支率  
（現在の運行計画にて）

203人

ユニークユーザー数  
（R7.6に月1以上利用した人数）

46%

車両の稼働率（R7.6）  
シフト時間のうち乗客を乗せてい  
た時間の割合

39%

乗合率（R7.6）  
乗客を乗せていた時間のうち2組  
以上を乗せていた時間の割合

# 実証実験から得られた数値

約13.5%

町域を跨いだ移動  
(R7.6の総利用者に対する割合)

		目的地				総計
		寄	松田市街地	大井町	開成町	
乗車地	寄	7	391	18	0	416
	松田市街地	354	400	152	25	931
	大井町	18	138	13	0	169
	開成町	0	17	0	0	17
	総計	379	946	183	25	1,533

# 実証実験後（令和8年度以降）の交通施策について

現在実施中のアンケート及び運行実績を踏まえ、検討を進めていく

## 【検討のポイント】

現在の運行に係る収支を町の支出によって全額補填することは困難なことから、令和5年度～令和8年度の3か年の実証実験における利用実績を踏まえ、次のようなポイントを中心に、町、足柄オンデマンドにて協議を進めます。

- ・ 事業実施体制の検討
- ・ 運行計画の検討  
⇒ 運行台数の検討、運行エリアの検討、利用対象者の検討



## 松田町A I オンデマンド交通 運行計画案

実施期間	令和5年10月1日～令和8年9月30日
運行開始日	令和5年10月23日
運行形態	<p>丹沢交通</p> <p>➤ 道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業 (道路運送法施行規則第3条の3の区域運行)</p> <p>松田合同自動車</p> <p>➤ 道路運送法第21条による乗合運送許可(区域運行)</p>
運行経路	利用者の予約に基づきオンデマンド配車システムにより自動生成された経路を運行
運行区域	松田町全域及び大井町、開成町、山北町の一部区域
ミーティングポイント (乗降地点)	<p>町内 219 箇所</p> <p>大井町 36 箇所</p> <p>開成町 13 箇所</p> <p>山北町 4 箇所</p> <p>※松田町を自宅登録した場合 ドア(自宅付近) to ポイントも可</p>
運行日	<p>運休日を除く平日</p> <p>運休日：年末年始(12/29～1/3)、災害時などやむを得ない理由のある場合</p>
運行時間帯	<p>○平日</p> <p>午前9時00分～午後5時00分</p>
運行車両	<p>➤ ワンボックス車両(乗車定員8名(運転手のぞく))3台</p> <p>➤ ワンボックス車両(乗車定員5名(運転手のぞく))2台</p> <p>※時間帯により運行台数は変動</p> <p>※車両総重量5t以下であって乗車定員23人以下の自動車につき、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」における移動等円滑化基準の適用除外がされた自動車を導入。</p>
予備車両	<p>ワンボックス車両(乗車定員12名(運転手のぞく))2台</p> <p>ワンボックス車両(乗車定員8名(運転手のぞく))1台</p>
対象者	制限は設けない
予約方法	<p>電話、LINE または Web ブラウザにて、事前予約。</p> <p>※予約・取消の受付は、乗車日の7日前から乗車希望時間の60分前まで可能。</p> <p>○電話予約</p> <p>(専用電話 0120-303-062) 午前9時00分～午後5時00分</p>
運賃	下記料金表のとおり

料金表

料金体系		使用回数	金額
乗車券	1 乗車	1 回（片道）	500 円
	1 日乗車券	1 日	800 円
	定額乗り放題	1 ヶ月	6,000 円

○運行台数

3 台の車両について、時間帯により以下のとおり移動ニーズを踏まえて運行。

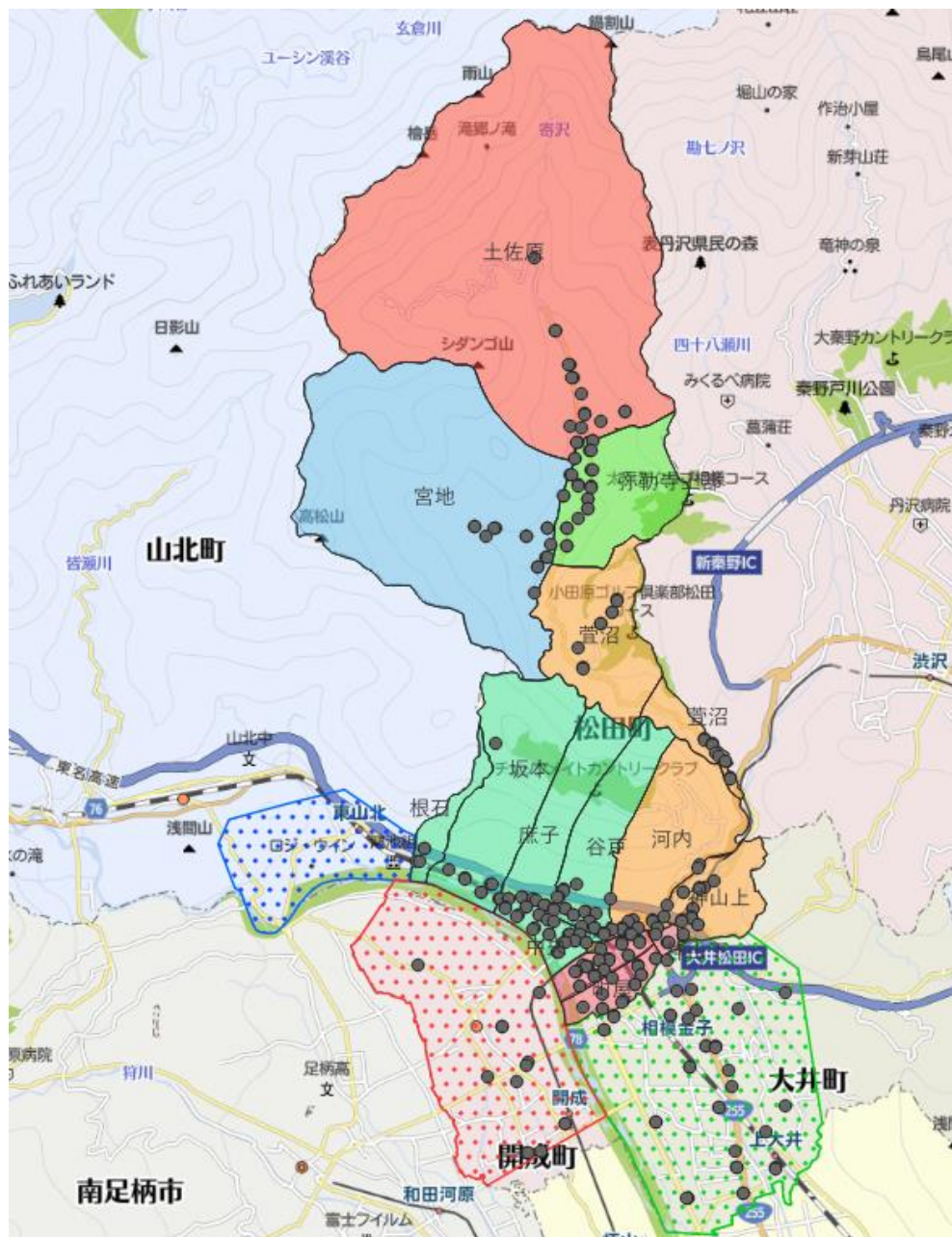
	午前			午後					
No.	9	10	11	0	1	2	3	4	5
01									
02									
03									
04									

	：通常のオンデマンド運行
--	--------------

# 令和7年度 松田町オンデマンド交通 運行(案)

令和7年11月





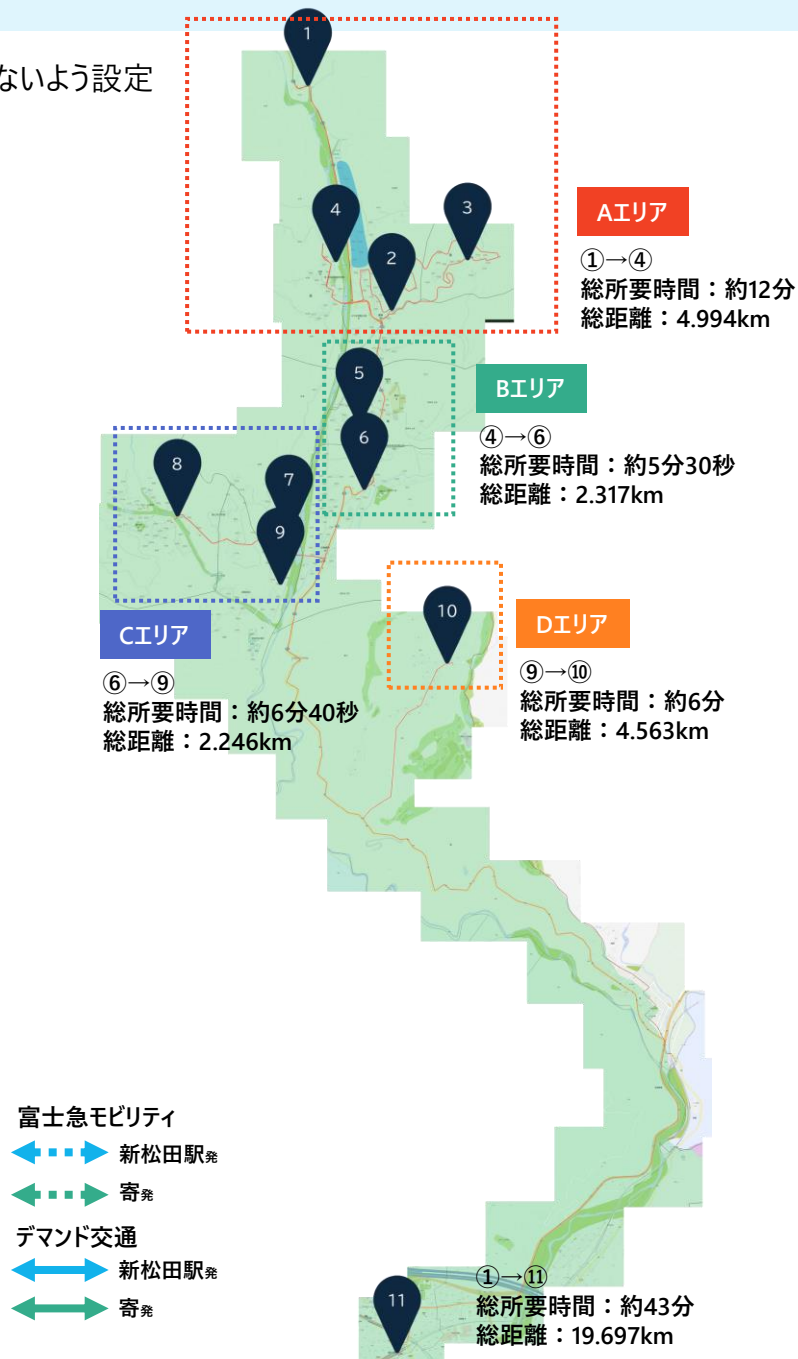
- 運行エリアは松田町、大井町、開成町、山北町  
 ※システムに設定するエリア区分は左図のとおり  
 ※グレーポイントは乗降地点として登録するポイントを示しています

## 共通事項

運行区域	松田町全域、大井町・開成町・山北町のランドマーク
運行日・時間	平日(土、日、祝日を除く) 9:00～17:00
運賃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1乗車 500円</li> <li>・1日乗車券 800円</li> <li>・定額乗り放題 6,000円</li> </ul> <p>※銀行引き落としまたはドライバーによる収受</p>
乗車予約	<p>受付締切時間を乗車希望時間 <b>60分前</b> までとする</p> <p>乗車希望時刻の <b>30分前</b> に乗車時刻が確定、確定後は乗車時刻の変動はしない</p>
車両	<p>3台</p> <p>※車両① 寄地区⇄松田町専用</p> <p>※車両②③ 松田惣領・神山・松田庶子内および松田町⇄大井町・開成町・山北町</p>
運行方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MP、MP間の移動を可能とする</li> <li>・松田町を自宅登録した場合 ドア(自宅付近)toポイントも可</li> </ul>
許容時間	<p>前15分、後15分、必着発前後10分</p> <p>※「●時前後に出発」のご予約の場合、ご希望の出発時間から前10分～後15分の範囲で時間が前後する可能性があります。</p> <p>※「●時までに着」「●時以降に出発」のご予約の場合は、前15分～●時までに着、または●時～15分以内に出発となります。</p>

- 寄地区北部⇄新松田駅まで片道50分、富士急モビリティの運行時間と重複しないよう設定

	寄地区 ⇄ 新松田駅前	富士急モビリティ重複時間
運行 時間	<b>1便</b> 9:00-9:15 Aエリア 9:15-9:25 Bエリア 9:25-9:35 Cエリア 9:35-9:40 Dエリア 9:50 新松田駅周辺	
	<b>2便</b> 10:00 新松田駅周辺 10:10-10:15 Dエリア 10:15-10:25 Cエリア 10:25-10:35 Bエリア 10:35-10:50 Aエリア	
	<b>3便</b> 11:00-11:15 Aエリア 11:15-11:25 Bエリア 11:25-11:35 Cエリア 11:35-11:40 Dエリア 11:50 新松田駅周辺	
	休憩(12:00~13:00)	
	<b>4便</b> 13:00 新松田駅周辺 13:10-13:15 Dエリア 13:15-13:25 Cエリア 13:25-13:35 Bエリア 13:35-13:50 Aエリア	
	<b>5便</b> 14:00-14:15 Aエリア 14:15-14:25 Bエリア 14:25-14:35 Cエリア 14:35-14:40 Dエリア 14:50 新松田駅周辺	
	<b>6便</b> 15:00 新松田駅周辺 15:10-15:15 Dエリア 15:15-15:25 Cエリア 15:25-15:35 Bエリア 15:35-15:50 Aエリア	
	<b>7便</b> 16:00-16:15 Aエリア 16:15-16:25 Bエリア 16:25-16:35 Cエリア 16:35-16:40 Dエリア 16:50 新松田駅周辺	



- 運行区域拡大に伴い、新たに追加する乗降場所

1. 山北高校前
2. クリエイトS・D 東山北店
3. 小田原百貨店 山北店
4. ぐみの木近隣公園

